



# 取扱説明書

TRIFORA

スマートフォンアプリケーション  
TRIFORA Mobile



このたびは、TOA スマートフォンアプリケーション TRIFORA Mobile をダウンロードいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

ライセンス情報 .....	7
個人情報について .....	8
ネットワーク使用時のセキュリティ対策について .....	8
はじめに .....	9
TRIFORA Mobile でできること .....	10
ビューアーモードとリモコンモード .....	10
システム例 .....	11
接続数について .....	12
映像の配信数について .....	12
運用までの流れ .....	13
初期設定 .....	14
サイトを登録する .....	15
サイトを追加する .....	16
サイトを編集する .....	16
サイトを削除する .....	16
動作モードの変更のしかた .....	17
プッシュ通知を確認する .....	18
ビューアーモードの操作のしかた .....	19
サイトにログインする .....	19
ライブを見る .....	19
PTZ カメラを操作する .....	20
レコーダーの録画映像を再生する .....	22
リモコンモードの設定のしかた .....	23
カメラ名／パターン名を確認して変更する .....	23
音声操作の動作確認をする、誤認識結果を別名登録する .....	25
ホーム画面を設定する .....	27
設定をエクスポート、インポートする .....	27
別名を登録、編集する .....	28
リモコンモードの操作のしかた .....	29
リモコンモードの操作の流れ .....	29
ライブ映像を切り換える .....	30
録画映像を再生する .....	32
ホーム画面を表示する .....	33
エラーメッセージ .....	34
ビューアーモード .....	34
リモコンモード .....	34
故障かな？と思ったら .....	36
ビューアーモード .....	36
リモコンモード .....	37

## アプリケーション使用許諾契約

本使用許諾契約（以下「本契約」）は、TOA 株式会社（以下「当社」）製のスマートフォン用アプリケーション TRIFORA Mobile（以下「本アプリ」）に関して、お客様（以下「ユーザー」）と当社との間で締結される法的な契約です。当社は、ユーザーが本アプリを使用するにあたり、ユーザーが本契約の条項に拘束されることに同意したものとみなします。なお、ユーザーが本契約の条項に同意しない場合、本アプリを使用することはできません。

1. 本契約に基づき、当社はユーザーに対し、当社の販売するネットワークレコーダーおよびネットワークカメラ（以下「機器」）の情報取得または制御する目的（以下「本目的」）で本アプリを使用する非独占的かつ譲渡不能な権利を許諾します。ユーザーは、ユーザーの管理するスマートフォン、タブレット等（以下「端末」）1 台に対して本アプリのライセンス 1 件を使用することができます。
2. 本アプリに関するすべての権利および著作権は、当社が所有しており、本アプリは著作権法および国際条約の規定によって保護されています。また、本アプリに関するすべての著作権およびその他の知的財産権は、ユーザーに一切移転・帰属されないものとします。
3. ユーザーは、本アプリを複製、譲渡、貸出、移転、または、その他の方法で第三者に使用させることはできません。ユーザー自身による本アプリの使用を目的としたデバッグ用途以外に、本アプリの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
4. 本アプリに含まれるオープンソースソフトウェア（以下、「OSS」）に該当する部分は当該 OSS のライセンス条件（使用許諾契約を含む）に従うものとし、本契約に定める保証等から明示的に除外するものとします。
5. ユーザーは、本アプリを本目的以外に使用することはできません。
6. ユーザーは、本アプリの使用を終了しない限り、本契約を解除することはできません。
7. 本アプリは日本国内向けの仕様であり、本アプリを国外に持ち出して使用することを推奨しません。国外に持ち出して使用する場合は、ユーザーの責任と負担において、適用される各国の輸出管理法令等に従うものとし、当社は関与せず、また、いかなる責任も負いません。  
なお、本アプリは、「商用コンピューターソフトウェア」および「商用コンピューターソフトウェア書類」とみなされ、アメリカ合衆国政府による規制 DFAR Section 227.7202 および FAR Section 12.212(b) にそれぞれ従っています。
8. 当社は、本アプリをダウンロード、インストールまたは使用したことにより発生した通信料金、データ損失、逸失利益、補償金、機器や端末の破損、その他いかなる損害について、当社の故意または重過失の場合を除き、ユーザーに対し責任を負いません。また、当社は、明示もしくは黙示を問わず、本アプリに関する一切の保証（商用性および特定の目的に対する適合性などの黙示の保証を含む）をしないものとします。
9. 当社は、ユーザーによる本アプリの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルが行われた場合、それに起因するかどうかに関わらず、発生した一切の故障または不具合に関して、当社の故意または重過失を除き、ユーザーに対し責任を負いません。
10. ユーザーが、本アプリを違法に複製した場合、または本契約に違反した場合、事由のいかんを問わず、当社は本契約を解除することができます。その場合、ユーザーは、本アプリを一切使用できないものとします。
11. ユーザーは、次の内容を表明し、保証するとともに、本アプリの使用期間中、これらを遵守しなければなりません。また、当社は、ユーザーが本内容に違反した場合には、催告その他何等の手續を要することなく、直ちに締結した全ての契約の全部または一部を解除することができるものとし、この場合、ユー

ザーは、解除により被った損害の賠償を、当社に求めることはできません。なお、当社はユーザーに対し、契約解除によって被った損害の賠償を請求することができるものとします。

- ① 自らが反社会的勢力（「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」に定義する暴力団およびその関係団体等をいう。）でないこと。
- ② 反社会的勢力ではなかったこと、反社会的勢力を利用しないこと、反社会的勢力を名乗るなどして当社の名誉・信用を毀損もしくは業務の妨害を行わないこと。
- ③ 不当要求行為等をなさないことおよび主要な出資者、または役職員が反社会的勢力の構成員でないこと。

12. 当社は、ユーザーが本契約の内容に違反したことによって、ユーザーが被った損害について、なんら責任を負いません。また、ユーザーは、本契約に定める内容に違反したことによって当社に損害を生じたときは、当該損害を賠償しなければなりません。

13. 上記 4 の事項を除き、本アプリに本契約とは別の使用許諾契約書が添付されている場合であって、当該使用許諾契約書と本契約の条項に相違がある場合には、当該使用許諾契約書に記載の条項を優先するものとします。

14. 当社は、必要と認めるときは、本契約の内容を変更することがあります。本契約の内容を変更したときは、当社の所定の方法によってユーザーに通知、周知するものとします。

15. 本契約は日本国の法律に準拠します。本契約に起因する紛争の解決については、神戸地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

2021年9月1日  
TOA 株式会社

# スマートフォンアプリケーションに関するプライバシーポリシー

TOA 株式会社（以下、「当社」といいます）は、当社の提供するスマートフォンアプリケーション「TRIFORA Mobile」（以下、「本アプリ」といいます）の利用者（以下、「ユーザー」といいます）に関する個人情報を含んだ情報（以下、「ユーザー情報」といいます）の取扱いについて、以下の通り、プライバシーポリシー（以下、「本ポリシー」といいます）を定めます。なお、同時に適用されます当社の「個人情報の取扱いについて」を合わせてご確認ください。

1. 情報を取得するアプリケーション提供者  
TOA 株式会社

2. 取得するユーザー情報と利用目的

※ 下記情報は、必ずしも個人を特定する情報に該当はしませんが、個人を特定する可能性がある情報を含むため、本ポリシー内で取得情報およびその利用目的を通知、公表いたします。

取得するユーザー情報	利用目的
① 音声認識の結果情報 ② 次の場合における本アプリによる処理結果情報 ・ 機器に個人名が登録された場合 ・ 他の情報と容易に照合することで個人を特定できる場合 ・ 機器に設置場所の名称が登録され、その名称から個人を特定できる場合 ③ 本アプリの操作中のご利用端末の IP アドレス、および IP アドレスから推定される位置情報（市区町村名のみ）	・ 当社の製品およびサービスを提供するにあたっての改善、開発のため ・ 本アプリの改良のため ・ 本アプリの使用状況の分析、統計情報の作成のため

3. 取得方法等

当社は、ユーザー情報を、本アプリ内に組み込まれた下記の情報収集モジュールにて取得します。

情報収集モジュールとは、第三者が提供するプログラムであって、ユーザー情報を取得・解析するための機能を持つものをいいます。

(1) 取得するユーザー情報

上記 2. の「取得するユーザー情報」に記載した情報を Google, Inc. の提供する Firebase 向け Google Analytics により取得します。

(2) 情報収集モジュール名

Google Analytics

(3) 情報収集モジュール提供者

Google LLC およびその完全子会社

(4) 情報収集モジュール提供者によるユーザー情報の利用

ユーザー情報は Google の管理するサーバーシステムに格納されます。Google は当該ユーザー情報を、Google が定める利用目的の範囲で利用します。

なお、情報の収集方法及び利用方法は、Google Analytics サービス利用規約及びプライバシーポリシーをご覧ください。

- ・ Google Analytics サービス利用規約
- ・ Google プライバシーポリシー

4. 通知・公表、利用者関与の方法

(1) 通知・公表

当社は、「本ポリシー」及び「個人情報の取扱いについて」に関する通知・公表は、本アプリまたは当社のホームページに掲載する方法で行います。

(2) 利用者関与の方法

ユーザーからご提供いただいたユーザー情報の利用を拒否される場合、本アプリをアンインストール（削除）することで中止することができます。

ユーザーからご提供いただいたユーザー情報のうち、個人情報につきましては、個人情報の保護に関

する法律等の定めに基づき、ユーザーからの申し出により、削除等を行います。この場合の手続きは、当社の「個人情報の取扱いについて」をご覧ください。

#### 5. 第三者提供等

当社は、法令に基づく場合、利用目的の達成に必要な範囲内でユーザー情報を委託する等、法令等により許される場合を除き、あらかじめご本人の同意を得ることなく、取得したユーザー情報を第三者へ開示・提供いたしません。

なお、利用目的の達成に必要な範囲内でユーザー情報を委託する場合であっても、可能な限り個人を特定できない状態にして提供するものとします。

#### 6. お問い合わせ窓口

本アプリに関するお問い合わせは、以下の窓口にご連絡下さい。

TOA お客様相談センター

受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル 0120-108-117（固定電話専用）

ナビダイヤル 0570-064-475（有料）

FAX 0570-017-108（有料）

※ PHS、IP 電話からはつながりません。

#### 7. 本ポリシーの変更

当社は、本ポリシーを変更する必要がある場合には、当社の裁量によって変更します。変更する場合、当ページにてお知らせしますので、随時、最新の情報を当ページで確認されることを推奨します。

確認をされなかったことに起因するトラブルに関しては、当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

なお、ユーザーの同意が必要となる取得情報・利用目的の変更、第三者提供の変更等がある場合は、予めお知らせし、同意をいただきます。

2021年9月1日制定  
TOA 株式会社

# ライセンス情報

## ● AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意

本アプリは、画像情報の取り扱いに関して、MPEG 技術（AVC/H.264 STANDARD）を使用しており、同技術の使用に関して、当社は特許管理団体 MPEG LA,LLC. の許諾を受けております。

また、以下の場合を除いて、本アプリのご利用が禁止されていますので、ご注意ください。

- ① MPEG 技術利用者の個人的使用及び非営利的な使用であって、
  - (i) AVC/H.264 STANDARD に適合するビデオ（以下、「AVC/H.264」）の符号化
  - (ii) 個人的使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された AVC/H.264
- ② MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された AVC/H.264 の復号化。

なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC. までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

## ● HEVC/H.265 特許ライセンスに関するご注意

本アプリは下記 URL に掲載されている特許の 1 つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。  
[patentlist.hevcadvance.com](http://patentlist.hevcadvance.com)

## ● オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本アプリは、オープンソースソフトウェアライセンスに基づくソフトウェアを使用しています。

本アプリにおいて、当社は製造物としての動作保証は行いますが、オープンソースソフトウェアそのものの動作に関しては保証を行いません。

本アプリに搭載しているオープンソースソフトウェアの詳細情報は本アプリのメニューを参照してください。

なお、ソースコードの内容に関してお問い合わせをいただいても、ご回答することはできませんので、あらかじめご了承ください。

## 個人情報について

本スマートフォンアプリケーションまたは本スマートフォンアプリケーションを使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。\* 法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

\* 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

### ● 機器を譲渡・廃棄される場合

本スマートフォンアプリケーションとともに使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。

廃棄、譲渡、修理などで本スマートフォンアプリケーションまたは記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

## ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

- お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。  
不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- デジタルレコーダーへの不正アクセスを防ぐために、機器のID、およびパスワードは、初期設定から変更して運用してください。  
設定方法等、詳細についてはデジタルレコーダーの取扱説明書を参照してください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。



# はじめに

## ● アプリケーションのインストールについて

App Store または Google Play ストアで「TRIFORA Mobile」を検索し、インストールしてください。

## ● TRIFORA Mobile について

TRIFORA Mobile は、TOA 製ネットワークレコーダー（TRIFORA レコーダー）および TRIFORA カメラ専用のスマートフォンアプリケーションです。

スマートフォンでライブ映像や録画映像を表示したり、TRIFORA レコーダーを操作したりすることができます。

## ● 取扱説明書について

本書は Android のスマートフォン画面で説明しています。

ご使用のスマートフォンの機種、OS、バージョン、設定などにより、操作画面が異なる場合があります。

スマートフォンの詳しい操作方法等については、スマートフォンに付属の取扱説明書やご利用の携帯電話サービス会社にお問い合わせください。

## ● TRIFORA Mobile の対応機器について

TRIFORA Mobile と通信できる機器は、以下のとおりです。

TRIFORA レコーダー（N-R516/N-R532/N-R500R：ファームウェア Ver.2.0.15 以降）

TRIFORA カメラ（N-C5 シリーズ\*）

\* N-C5 シリーズには、ビデオエンコーダーを含みます。

対応できるレコーダー、カメラ等の情報については、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) を参照してください。

## ● TRIFORA Mobile の動作環境について

TRIFORA Mobile は以下の環境で動作します。

Android OS 8 以降

iOS 13 以降

## ● TRIFORA Mobile との通信について

- TRIFORA Mobile は HTTP 通信（または HTTPS 通信）と RTSP ポートを使用します。
- TRIFORA Mobile は自己証明書を使用した HTTPS 通信には対応していません。
- HTTPS 通信を使用する場合は、TRIFORA レコーダーまたはカメラに第三者認証局に依頼して発行された CA 証明書を設定する必要があります。設定方法等、詳細については各機器の取扱説明書をご覧ください。
- TRIFORA カメラのポート番号をデフォルトから変更する場合は、TRIFORA Mobile のサイト登録（ポート番号）を変更してください。
- TRIFORA レコーダーは HTTP ポート「80」または HTTPS ポート「443」と RTSP ポート「554」を使用します。インターネット経由で TRIFORA レコーダーにアクセスする場合は、ルーターなどで適切にポートマッピングを設定してください。
- TRIFORA レコーダーを登録する際は、ユーザー名に admin を指定してください。
- TRIFORA カメラを登録する際は、ユーザー名に管理者アカウントを指定してください。
- TRIFORA カメラの認証方式はベーシック認証に設定してください。ダイジェスト認証には対応していません。

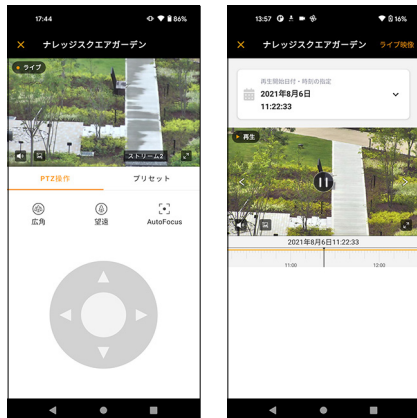
# TRIFORA Mobile でできること

## ■ ビューアーモードとリモコンモード

TRIFORA Mobile には「ビューアーモード」と「リモコンモード」の2つのモードがあります。

### ● ビューアーモード（遠隔監視）

スマートフォンでカメラのライブ映像や再生映像を表示できます。  
ライブ映像表示中はPTZカメラの操作をすることもできます。  
音声による操作はできません。



### ● リモコンモード（音声操作／タッチ操作）

スマートフォンを使って、レコーダー本体の表示映像を操作することができます。  
音声操作とタッチ操作に対応しています。



#### [音声操作]

スマートフォンに向かって話しかけることで、音声認識によりレコーダーの操作を行います。

#### [タッチ操作]

スマートフォン画面上のボタンをタップすることで、レコーダーの操作を行います。音声認識ができない場合にも操作できます。

#### 【ご注意】

- 音声操作を行うには、スマートフォンのインターネット接続が必要です。
- リモコンモードでは、スマートフォンの画面にカメラ映像は表示されません。
- 音声認識を開始するには、スマートフォン画面上のマイクボタンをタップする必要があります。ハンズフリーでは使用できません。

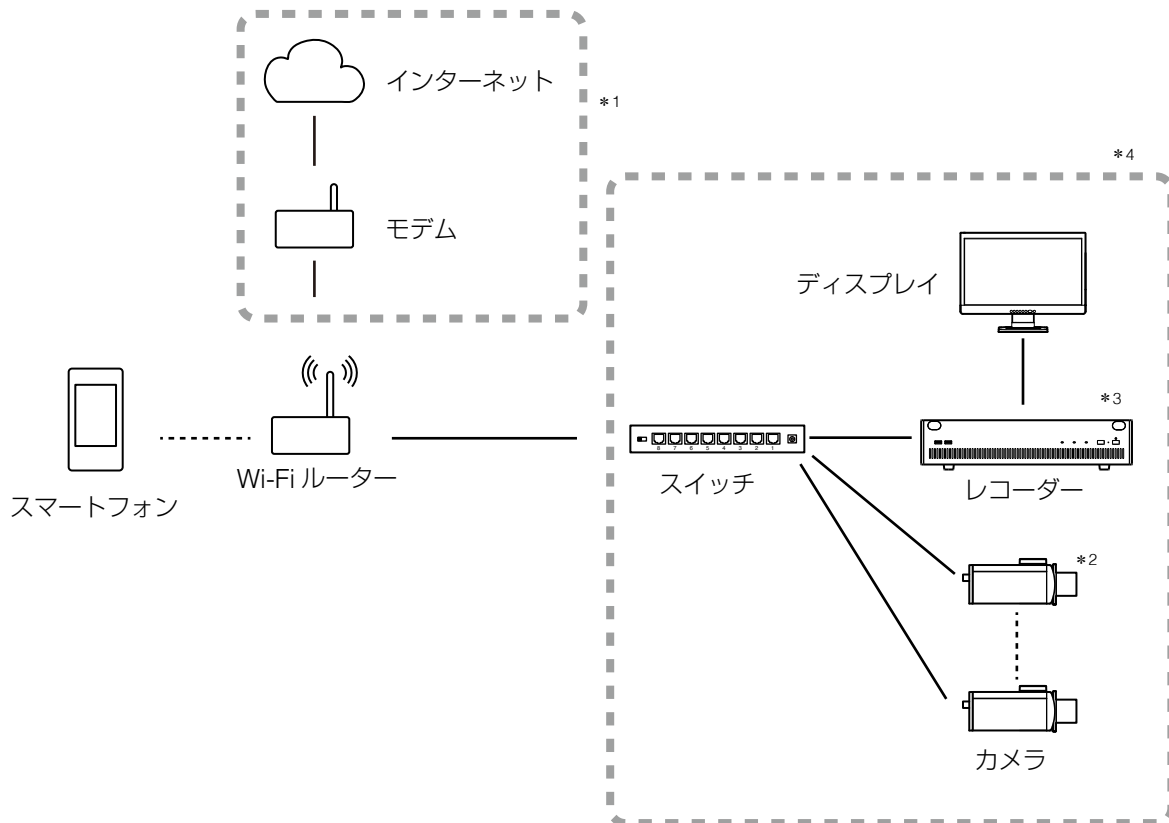
## ● モードによる機能の違い

機能・条件 モード	ログインできる機器	スマートフォン上の カメラ映像表示	PTZ カメラ操作	レコーダー画面 の操作
ビューアーモード	N-R5 シリーズ N-C5 シリーズ	・1chのみ可 ・ライブ映像 ・録画映像（レコーダー ログイン時のみ）	ライブ映像表示 中のみ可	不可
リモコンモード	N-R5 シリーズ	不可	不可	可

[モードの操作方法]

機能・条件 モード	タッチ操作	音声操作
ビューアーモード	常に可	不可
リモコンモード	常に可	インターネット接続時のみ可

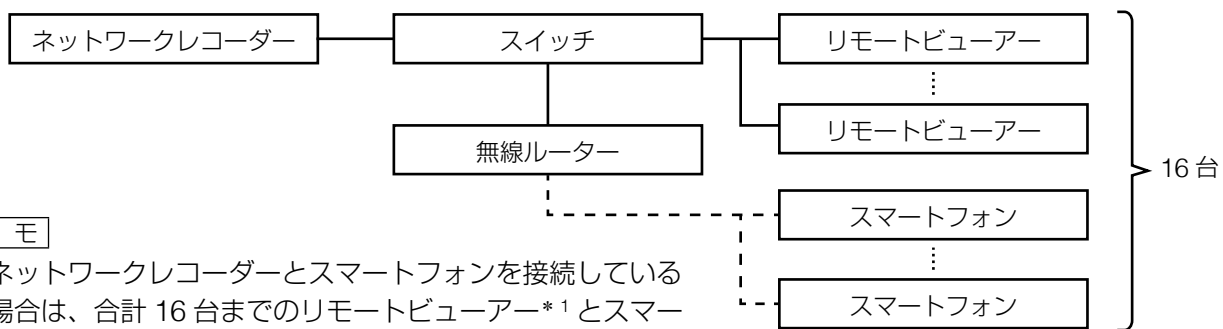
## ■ システム例



- \*1 リモコンモードの音声操作では、音声認識機能を使用するために、スマートフォンのインターネット接続が必要です。ただし、リモコンモードのタッチ操作や、ビューアーモードの場合にはインターネット接続は不要です。
- \*2 リモコンモードではカメラを操作することはできません。
- \*3 ビューアーモードでカメラのみを操作する場合は、システムにレコーダーは不要です。
- \*4 接続のしかたについては、カメラとレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

## ■ 接続数について

[ネットワークレコーダーに同時に接続できるスマートフォンの台数]



メモ

- ネットワークレコーダーとスマートフォンを接続している場合は、合計 16 台までのリモートビューアー\*1 とスマートフォンを接続できます。
- 接続数が 16 台を超える場合はログインできません。

\*1 ライブ表示専用モードに設定されているリモートビューアーは台数としてカウントされません。ライブ表示専用モードの設定方法については、TRIFORA リモートビューアーの取扱説明書「オプション設定」をご覧ください。

## ■ 映像の配信数について

制限を超える接続をした場合は映像を表示できません。

ご注意

ネットワーク環境により映像に遅延や途切れが生じる場合があります。

### ● ライブ

[カメラにログインする]

カメラが同時に配信できるライブ映像の配信数は以下のとおりです。

TRIFORA シリーズ：最大 14 配信\*2

\*2 カメラの配信設定（画像サイズ、画質、音声等）により、最大配信数が制限されることがあります。

[レコーダーにログインする]

レコーダーの再配信数\*3は、レコーダー 1 台あたり最大 32 配信までです。

\*3 レコーダーの再配信数：本機能を使用しているリモートビューアーのメインモニターおよびサブモニターに表示するビューの数と、各スマートフォンへ配信しているライブ映像の数の合計です。

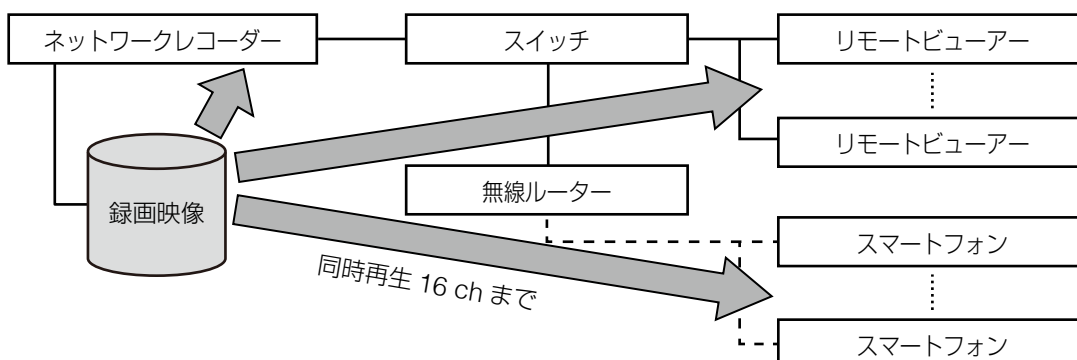
ご注意

本機能を使用する場合、ネットワークレコーダーの録画設定を 10 fps 以下に設定してください。15 fps 以上にすると、録画のコマ落ちやライブ映像に乱れが発生する場合があります。

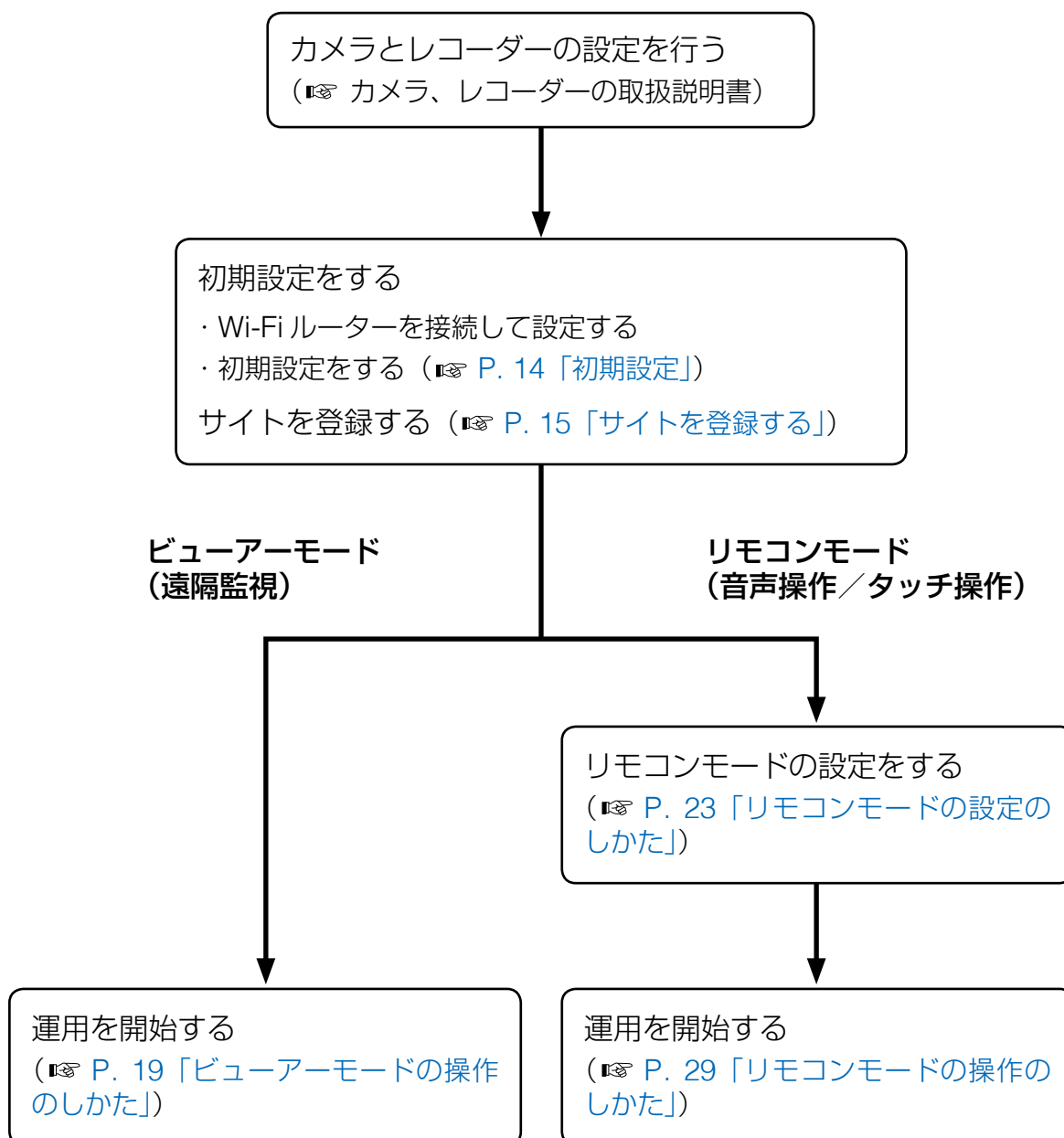
### ● 再生

ネットワークレコーダーに録画した映像は、同一のネットワークレコーダー、リモートビューアー、およびスマートフォンで再生することができます。

同時再生数は、ネットワークレコーダー 1 台に対して 16 ch (画面) となります。



# 運用までの流れ



# 初期設定

運用前に TRIFORA Mobile をインストールします。

## 1 App Store または Google Play ストアで「TRIFORA Mobile」を検索し、インストールする。

初回起動時には、TOA ロゴ画面のあとに自動でモード選択画面が表示されます。

メモ

以下のようなメッセージが表示されることがありますので「OK」または「許可」を選択してください。

- 「TRIFORA Mobile は、ローカルネットワーク上のデバイスの検索および接続を求めています」
- 「TRIFORA Mobile は、通知を送信します」  
ただし、プッシュ通知を受け取らない場合は許可する必要はありません。

## 2 モードを選択する。

「ビューアー」か「リモコン」のどちらかを選択します。

メモ

次回以降は設定したモードで起動します。

モードは動作モード設定画面から変更できます。

(参照 P. 17 「動作モードの変更のしかた」)

## 3 「確認」をタップする。

サイト登録画面が表示されます。

登録のしかたについては、次ページ「サイトを登録する」を参照してください。

[モード選択画面]



3

# サイトを登録する

TRIFORA Mobile は接続先をサイト\*として管理します。

サイトには、TRIFORA レコーダーと TRIFORA カメラ(ビューアーモードのみ)を登録できます。

- ・ サイト登録(レコーダー)には、サイトにログインできる環境が必要です。
- ・ サイト登録(レコーダー)を行うと、スマートフォンがプッシュ通知の送信先として登録されます。

## 1 サイト登録画面で各項目(サイト情報)を入力する。

[サイト登録画面]

レコーダー、カメラ：どちらか選択します。

サイト名 : 表示するサイト名を入力します。同じサイト名は複数登録できません。

プロトコル HTTPS : HTTPSで通信する際にONにします。

アドレス : サイトのアドレス(IP アドレス、ドメイン名)を入力します。HTTPS を選択した際は、ドメイン名を入力してください。

HTTP (S)ポート : サイトと通信するための HTTP (S)ポートを入力します。デフォルトは「80」を使用します。

RTSP ポート : サイトと通信するための RTSP ポート番号を入力します。デフォルトは「554」を使用します。

ユーザー名 : レコーダーは「admin」、カメラは管理者権限のあるユーザー名を入力してください。

### ご注意

レコーダー登録時のユーザー名で「admin」以外を入力すると正常に動作しない場合があります。

パスワード : ユーザー名に対応したパスワードを入力してください。

16:35 91%

× サイト追加

サイト情報

レコーダー  
 カメラ

プロトコル HTTPS

サイト名

アドレス

HTTP(S)ポート

RTSPポート

ユーザー名  
admin

パスワード

1

## 2 チェックボタン をタップする。

サイトが登録されます。

登録したサイトはビューアーモードとリモコンモードで共有されます。

メモ

ビューアーモードでレコーダーを登録すると、リモコンモードにも自動的に登録されます。ただし、リモコンモードにはカメラを登録できません。

\* サイトとは、TRIFORA Mobile から接続する機器の総称です。TRIFORA レコーダーや TRIFORA カメラが含まれません。

## ■ サイトを追加する

サイトを追加します。

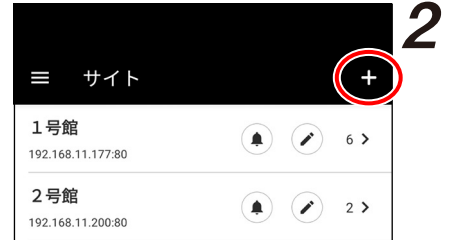
サイト(レコーダー)の追加は、サイトにログインできる環境で行ってください。

**1** 「レコーダー」と「カメラ」のどちらかのタブを選択する。

**2** サイトの追加ボタン **+** をタップする。

サイト登録画面が表示されます。

登録のしかたについては[前ページ](#)を参照してください。



## ■ サイトを編集する

サイトの登録情報を編集します。

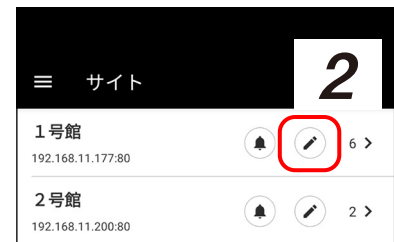
サイト(レコーダー)の編集は、サイトにログインできる環境で行ってください。

**1** 「レコーダー」と「カメラ」のどちらかのタブを選択する。

**2** 編集したいサイトの鉛筆マーク  をタップする。

サイト編集画面が表示されます。

編集のしかたについては[前ページ](#)と同様です。



## ■ サイトを削除する

登録したサイトを削除します。

### ご注意

サイト(レコーダー)を削除するときは、サイトにログインできる環境で行ってください。ログインできない場合、プッシュ通知情報を削除できないため、サイトを削除したあともプッシュ通知が送信されます。

**1** 「レコーダー」と「カメラ」のどちらかのタブを選択する。

**2** 削除したいサイトの鉛筆マーク  をタップする。

サイト編集画面が表示されます。

**3** 画面をスクロールして「このサイト情報を削除しますか?」をタップする。

**4** 「確認」をタップする。

サイトが削除されます。

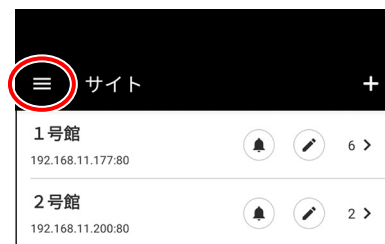




# 動作モードの変更のしかた

ビューアーモードとリモコンモードのどちらを使用するかを選択します。

**1** メニューボタン  をタップする。



**2** 「動作モード設定」をタップする。





**3** 「ビューアー」または「リモコン」のどちらかを選択し、「確認」をタップする。

選択したモードに切り換わります。

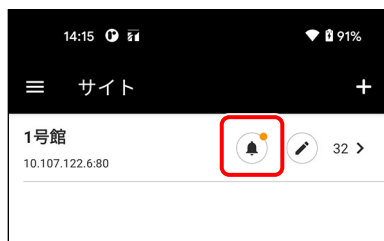


# プッシュ通知を確認する

サイト（レコーダー）のプッシュ通知アイコン  をタップすると、受信したプッシュ通知を確認できます。まだ確認していないプッシュ通知がある場合は  が表示されます。

## 1 アイコンをタップする。

通知内容の詳細が表示されます。



プッシュ通知リストが表示されます。



## 2 確認したいイベントをタップする。



### ご注意

- プッシュ通知機能を使用するためには、TRIFORA レコーダーおよびスマートフォンがインターネットにアクセスできる必要があります。
- プッシュ通知を配信するには、TRIFORA レコーダーのプログラムイベント設定画面でプッシュ通知の送信を有効にする必要があります。設定方法は TRIFORA レコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- TRIFORA Mobile で登録したサイトを削除すると、削除したサイト（レコーダー）のプッシュ通知先からも削除されます。ただし、TRIFORA Mobile でサイトにログインできない状態（パスワードが間違っている、ネットワークが切断している、レコーダーの電源が切れている、など）で削除すると、通知先の登録が削除できないためプッシュ通知が配信され続けます。  
プッシュ通知の受信を止めるには、以下のいずれかを行ってください。
  - ・ もう一度サイトを登録してから削除する
  - ・ TRIFORA Mobile のプッシュ通知受信権限を無効にする  
※ この場合、他のサイトからのプッシュ通知も受信できなくなります。
  - ・ TRIFORA Mobile をアンインストールしてから再インストールする

# ビューアーモードの操作のしかた

## ■ サイトにログインする

**1** 「レコーダー」と「カメラ」のどちらかのタブを選択する。

画面下のタブで「レコーダー」と「カメラ」のリストを切り換えて表示します。

**2** 操作したいサイトをタップする。

サイトにログインします。

[ログインしたサイトがレコーダーの場合]

レコーダーに接続されたカメラが静止画面でリスト表示されます。

[ログインしたサイトがカメラの場合]

カメラのライブ画面が表示されます。



## ■ ライブを見る

ビューアーモードでは、TRIFORA レコーダーまたは TRIFORA カメラのライブ映像を表示できます。レコーダーを選択した場合は、リスト表示からライブ画面を表示するカメラを選択してください。

[レコーダーの映像]



録画再生表示切替

カメラ一覧へ戻る

縦横画面切替

音声 ON/OFF    スナップショット

[カメラの映像]



ストリームの切り換え

☒ ☒

- レコーダーにログインしたときのみ録画再生ができます。
- カメラにログインしたときのみストリームの切り換えができます。

# ■ PTZ カメラを操作する

本機能は PTZ カメラのみが対象です。  
対象外のカメラの各操作アイコンは、グレーアウトまたは非表示になります。

## ● プリセット操作

PTZ カメラのプリセット移動、プリセットの追加、編集を行います。



[レコーダーにログインしたとき]

- 初期状態ではプリセット名は表示されません。TRIFORA Mobile から登録するときに名前を付けることができます。
- プリセット番号は、0～255 まで表示されます。
- プリセット移動は、プリセット登録していない番号を選択してもプリセット移動しません。
- プリセット追加は、現在の画角を任意のプリセット番号に登録します。
- プリセット編集は、プリセット位置、プリセット名を変更またはプリセット登録を削除します。

[カメラにログインしたとき]

- プリセット名が表示されます。
- プリセット番号は、プリセット登録されている番号のみ表示します。
- プリセット追加は、現在の画角を任意のプリセット番号に登録します。
- プリセット編集は、プリセット名を変更またはプリセット登録を削除します。

## ● パン、チルト、ズーム操作(PTZ 操作)

PTZ カメラを操作して、左右上下にレンズの向きを変えたり、ズームイン(望遠)・ズームアウト(広角)を行ったりします。



[望遠]

タップするとズームインします。

[広角]

タップするとズームアウトします。

[オートフォーカス]

タップするとフォーカス (焦点) を自動で合わせます。

[パン・チルト]

カメラの水平方向、垂直方向の向きを操作します。移動させたい方向にカーソルを動かします。

スマートフォンを横にすると、大きな画面で PTZ カメラの操作ができます。



パン、チルト操作アイコン：パン、チルトの画面表示を切り換えます。

チャンネル切換：<> で表示するチャンネルを切り換えます。

画面向き切換：画面の向きを切り換えます。

パン・チルト：カメラの水平方向、垂直方向の向きを操作します。移動させたい方向にカーソルを動かします。

# レコーダーの録画映像を再生する

1 「録画再生」をタップする。

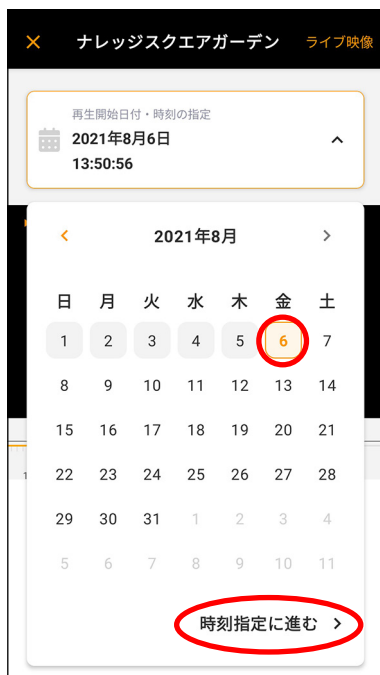


録画データのある日が色付きで表示されます。

3 再生開始時刻を選択し、「再生を開始する」をタップする。



2 再生したい日を選択し、「時刻指定に進む」をタップする。



4 再生ボタン▶をタップする。



録画データが再生されます。

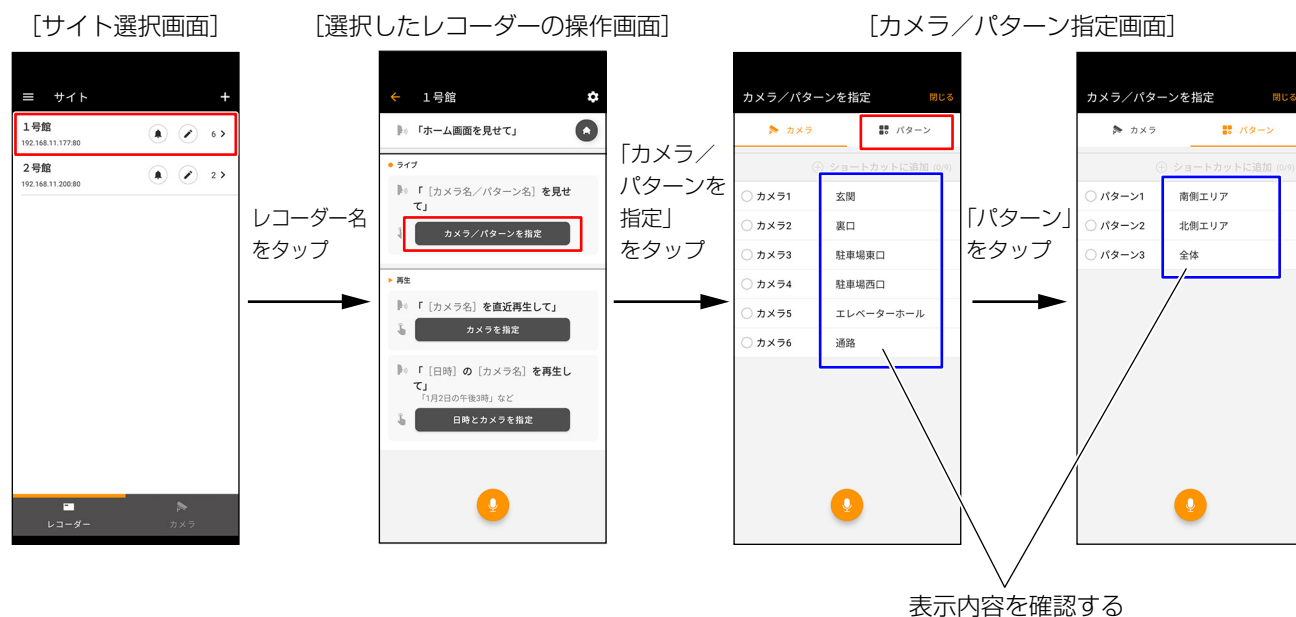


# リモコンモードの設定のしかた

## ■ カメラ名／パターン名を確認して変更する

### ● 操作画面で表示内容を確認する

TRIFORA Mobile では、レコーダー本体で設定したカメラ名／パターン名を自動で読み取り表示します。レコーダーを選択し、「カメラ／パターンを指定」をタップすると、カメラ名とパターン名が表示されます。タッチ操作の場合は、表示されるカメラ名／パターン名をタップして、レコーダー本体の画面表示に切り換えます。(P. 29 「リモコンモードの操作のしかた」)



ここで表示されるカメラ／パターン名を確認し、以下のような場合には、表示内容を変更してください。

- 名称を見ても、どのカメラ／パターンのことかが分かりにくい  
例：「C1-1」だと分かりにくいので、「駐車場東口」に変更する
- 名称が長くスマートフォンの画面上に最後まで表示されないため区別できない  
例：「北館エレベーターホール南」だと「北館エレベーターホー」までしか表示されないため、「北館エレベーター南」に変更する（「ホール」を削除）

## ● 音声認識に適した言葉か確認する

音声操作では、「[カメラ名/パターン名] を見せて」のように話しかけて操作しますが、音声認識された言葉が、画面に表示される「カメラ名/パターン名」と一致しないと操作できません。カメラ名/パターン名が以下のような言葉のときは音声を誤認識しやすいため、変更することをお勧めします。

- 音声認識できないような固有名詞や一般的でない言葉避ける  
「TRIFORA (トリフォラ)」と話しかけた場合に正しく認識されず、「鳥ほら」、「鳥フォロー」など誤認識されます。  
「ネットワークカメラ」のような一般的な言葉に変更すると誤認識を減らすことができます。
- 数字には「番」をつける  
「エレベーター 1 (イチ)」と話しかけた場合に「エレベーター位置」、「エレベーター石」などと誤認識されることがあります。  
「エレベーター 1 番」とすれば誤認識を減らすことができます。
- アルファベットを避ける
  - ・「エレベーター A (エー)」と話しかけた場合に「エレベーターへ」などと誤認識されます。  
「南側」など別の表現にするか、「A」を「アメリカ」に置き換える（フォネティックコード）などの方法があります。
  - ・「EV ホール」と話しかけた場合、「AV ホール」などと誤認識されます。  
「エレベーターホール」のように省略しない言葉にすれば誤認識を減らすことができます。
- わかりやすい名前にする  
屋上に設置されたカメラで入口を映している場合、カメラ名を「屋上」にすると、「屋上を見せて」と話しかけたときに入口が映るので、不自然で使いにくい場合があります。  
映している場所として「入口」というカメラ名にするか、または「屋上カメラ」というカメラ名にするという方法があります。

ただし、次のように、カメラ名/パターン名を変更したくない場合は、呼び方を別名で登録することもできます。

- ・レコーダー画面やスマートフォン画面では「地下 1 階エレベーター」よりも「B1F エレベーター」のようにアルファベットで表示されるほうが分かりやすい
- ・レコーダー画面やスマートフォン画面では固有名詞が表示されるほうが分かりやすい

## ● カメラ名/パターン名を変更する

カメラ名/パターン名の変更が必要になった場合は、レコーダー本体で設定を変更します。設定変更の詳細は、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

### で注意

レコーダーで設定変更を行った場合、TRIFORA Mobile に反映させるには、再度、サイト選択画面でレコーダーを選択しなおす必要があります。



## ■ 音声操作の動作確認をする、誤認識結果を別名登録する

実際にスマートフォンに話しかけて正しく音声認識されるかを確認します。  
正しく音声認識されなかった場合は、その誤認識された言葉を別名登録します。

### ● 別名登録とは

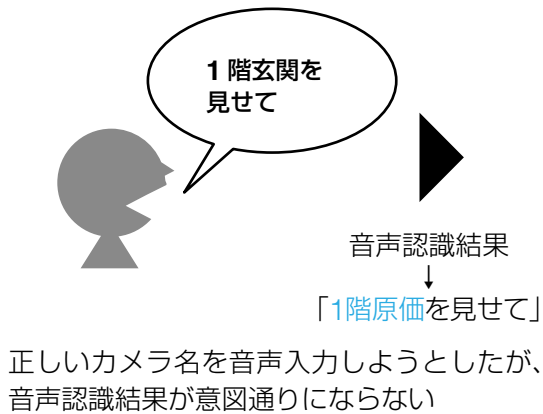
「[カメラ名/パターン名] を見せて」のように話しかけたときに、初期状態では音声認識結果がカメラ名/パターン名と一致しない場合には操作失敗となります。

カメラ/パターンに対して別名を登録すると、カメラ名/パターン名と一致しない場合でも、登録した別名と一致すれば操作成功となります。

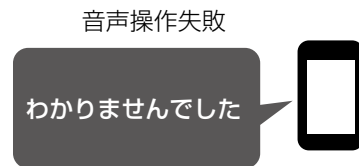
下図のように、音声を誤認識する場合や、カメラ名/パターン名とは異なる言葉で話しかけて操作したい場合に役立ちます。各カメラ/パターンに対して、複数の別名を登録できます。

(例)カメラ名が「1 階玄関」の場合

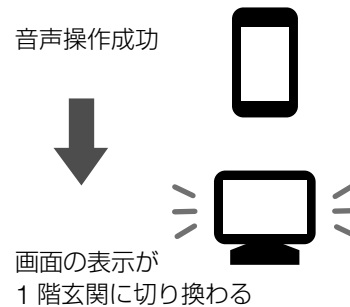
### 【音声の誤認識】



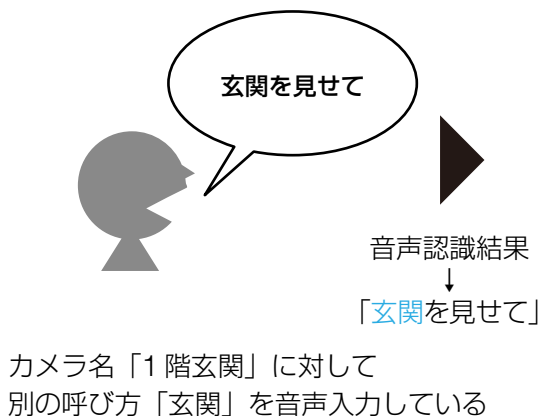
#### ● 別名を登録していないとき



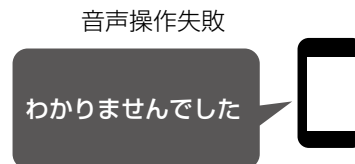
#### ● 「1 階玄関」の別名に「1階原価」を登録したとき



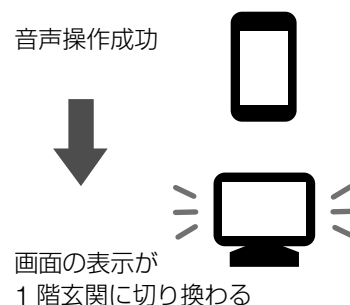
### 【呼び方がカメラ名/パターン名と違う】



#### ● 別名を登録していないとき



#### ● 「1 階玄関」の別名に「玄関」を登録したとき



## ● 動作確認と別名登録の手順

本手順はすべてのカメラとパターンで1回以上実施してください。

### 1 マイクボタン をタップして、「[カメラ名/パターン名] を見せて」と話しかける。

操作が成功した場合は「[カメラ名/パターン名] を表示します」と表示され、画面が切り換わります。

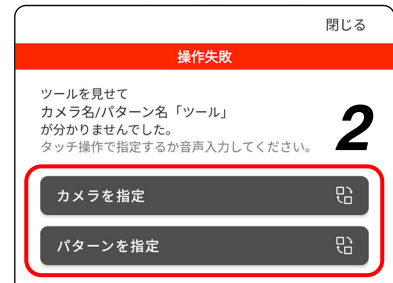
画面が正しく切り換わった場合、**手順2**以降の動作確認は不要です。

音声認識結果がカメラ名/パターン名と一致しなかった場合は、「操作失敗」の画面が表示されます。

 **メモ**

以下のメッセージが表示されることがありますので「OK」または「許可」を選択してください。

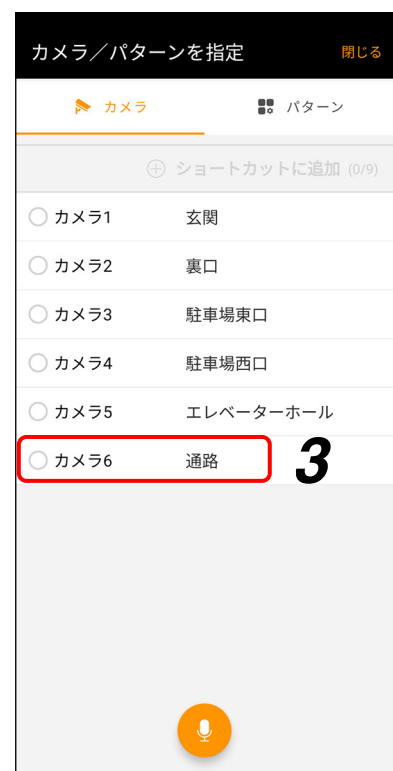
- ・「TRIFORA Mobile は、マイクへのアクセスを求めています」
- ・「TRIFORA Mobile は、音声認識へのアクセスを求めています」
- ・「音声の録音を許可しますか？」



### 2 「カメラを指定」または「パターンを指定」をタップする。

### 3 正しいカメラ名またはパターン名をタップする。

別名の追加を提案するメッセージが表示されます。



### 4 「はい」をタップする。

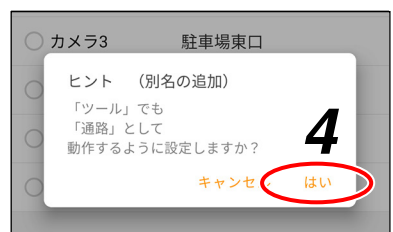
別名が登録されます。

次回からは登録した別名でも音声操作できます。

 **メモ**

別名の登録は設定画面からも行うことができます。その場合、スマートフォンのキーボードでの入力や、別名の編集・削除もできます。

( P. 28 「別名を登録、編集する」)



## ご注意

動作確認は「[カメラ名/パターン名]」ではなく、「[カメラ名/パターン名] を見せて」と話しかけてください。

たとえば、「駐車場西を見せて」と音声入力しようとする、「駐車場に塩見せて」のように、助詞（「を」）の部分などと組み合わせた場合のみ発生する誤認識もあります。このような誤認識を洗い出して別名登録するためには、「駐車場西」だけでなく、「駐車場西を見せて」と音声入力する必要があります。

## ■ ホーム画面を設定する

普段レコーダーで表示しておくパターンを「ホーム画面」として登録すると、ホームボタンのワンタップや「ホーム画面を見せて」などの音声操作で簡単にその画面に切り換えることができます。

### [ホーム画面の設定]

1 設定ボタン  をタップする。



2 「ホーム画面」を選択し、ホーム画面にしたいパターンを選択する。



## ■ 設定をエクスポート、インポートする

エクスポート、インポートの機能を使用して、ほかのスマートフォンに設定をコピーすることができます。コピーできる設定項目は別名、ホーム画面です。

エクスポート：リモコンモードの設定を CSV ファイル形式で保存することができます。

インポート：エクスポートした CSV ファイルを反映させることができます。

### 【ご注意】

インポートすると元の設定は上書きされます。

1 設定ボタン  をタップする。




2 「設定のエクスポート」または「設定のインポート」を選択する。

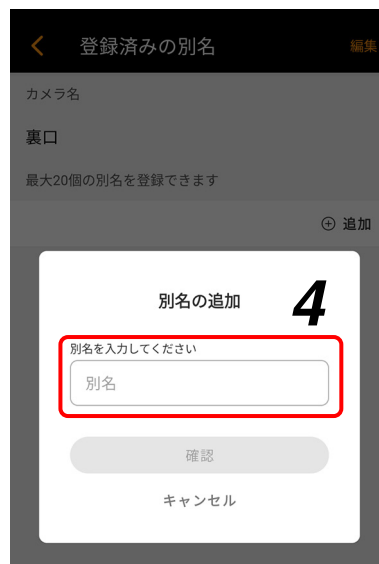


## ■ 別名を登録、編集する

設定画面でスマートフォンのキーボード入力を使った別名の登録や、編集、削除をすることができます。別名登録の説明や、誤認識結果を登録する方法については、P. 25「音声操作の動作確認をする、誤認識結果を別名登録する」を参照してください。

### ● 別名の登録

- 1 レコーダーを選択し、設定ボタン  をタップする。
- 2 「別名の登録」をタップして、カメラまたはパターンを選択する。
- 3 「⊕ 追加」をタップする。
- 4 登録したい別名を入力し「確認」をタップする。  
別名が登録されます。



# リモコンモードの操作のしかた

## ■ リモコンモードの操作の流れ

レコーダーを1台選択し、そのレコーダーを操作します。

[例]

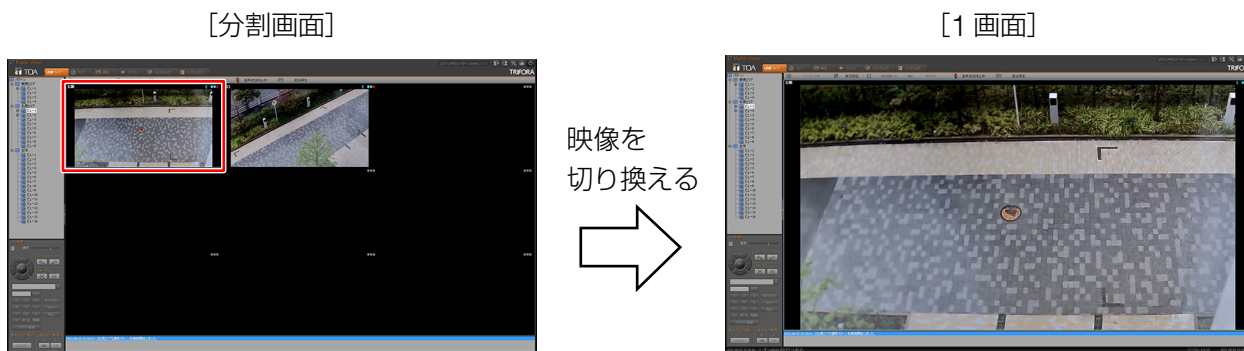


### ご注意

- レコーダーはユーザー名「admin」でログインしてください。
- レコーダーは「ライブ」タブ表示状態で使用してください。別のタブやメンテナンス画面などでは操作できません。
- 再生ビューを開いたままで TRIFORA Mobile の使用を開始すると、再生中の映像は一時停止状態になります。
- 再生ビュー以外のポップアップ画面を開いた状態で TRIFORA Mobile の使用を開始すると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンモードで操作したあと、同じレコーダーをマウスで操作した場合、正しく動作しない場合があります。
- 複数のスマートフォンで同時に使用すると、正しく動作しない場合があります。

## ■ ライブ映像を切り換える

レコーダーのライブ画面の表示を切り換えることができます。



操作のしかたは「音声操作」と「タッチ操作」の二通りあります。

### [音声操作]

手順：マイクボタン  をタップして「[カメラ名/パターン名] を見せて」と話しかける。



### [タッチ操作]

**1** 「カメラ/パターンを指定」をタップする。

**2** カメラ名またはパターン名から1つ選んでタップする。



## ● ショートカット

カメラ名/パターン名を固定表示して、ワンタップで選択できる機能です。



ショートカットの登録方法は二通りあります。

### 【操作履歴から登録する】

音声操作またはタッチ操作でライブ映像を切り換えると、指定したカメラ名/パターン名が操作履歴として表示されます。「+」をタップすると、ショートカットとして固定表示されます。



↓ 「+」をタップする



ショートカットが登録される

### 【カメラ/パターン選択画面から登録する】

カメラ/パターンをタップしたあと、「+ ショートカットに追加」をタップするとショートカットに登録されます。



## ● 画面を戻す

レコーダーに表示される映像を1つ前の状態に戻す機能です。画面を戻すことができるレコーダー画面は以下のとおりです。

- ・ 分割画面表示
- ・ 1画面表示

※ 再生ビューへ戻ることはできません。

【例】 駐車場西口、食堂の順に切り換えたあとで「画面を戻す」を実行した場合



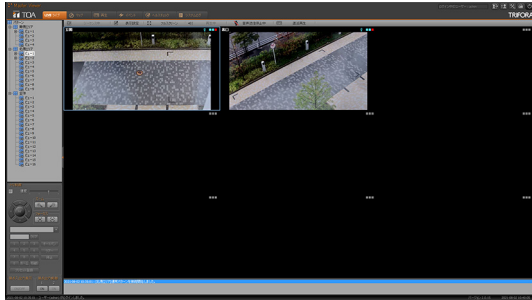
### メモ

起動後にライブ画面の切り換えを2回以上行ったときのみ、画面を戻すことができます。

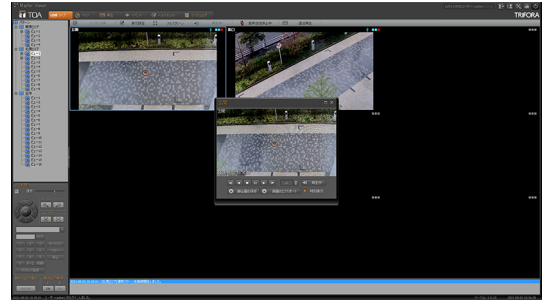
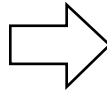
## 録画映像を再生する

レコーダーの「ライブ」タブで再生ビューを開いて再生映像を表示します。  
また、一時停止等の操作もできます。


[ライブ画面]

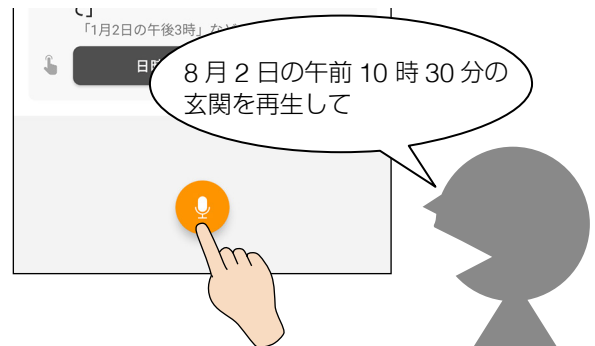


[ライブ画面上に再生ビューを表示]



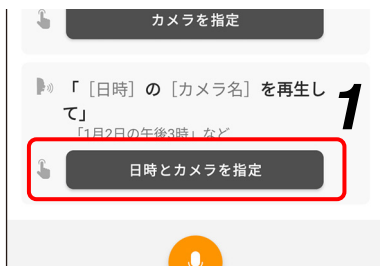
### ● 音声操作

手順：マイクボタン  をタップして「[日時]の[カメラ名]を再生して」と話しかける。



### ● タッチ操作

**1** 「日時とカメラを指定」をタップする。



**2** 「再生開始日時」をタップする。



**3** 「日時指定」を選んで、カレンダーから再生したい日付と時刻をタップする。





**4** 右上の「完了」をタップし日時を確定する。

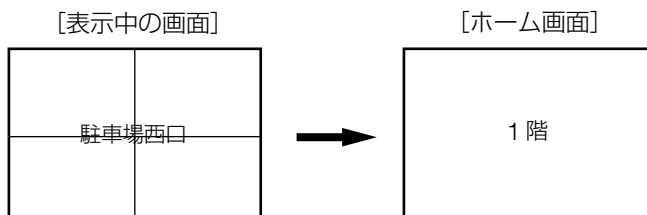


**5** 再生したいカメラをタップする。  
再生が開始されます。



## ■ ホーム画面を表示する

あらかじめ「ホーム画面」に登録したパターンに簡単に切り換えることができます。



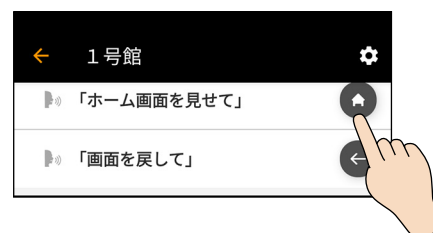
### ● 音声操作

手順：マイクボタン  をタップして「ホーム画面を見せて」と話しかける。



### ● タッチ操作

手順：ホームボタン  をタップする。



# エラーメッセージ

## ■ ビューアーモード

表示内容	対処・説明
通信エラー サイトとの通信に失敗しました	サイトに登録している機器の電源が入っていることを確認してください。
	スマートフォンとサイトのネットワーク接続を確認してください。
	HTTP (S) 通信に失敗しています。サイト登録情報またはレコーダーやカメラの設定を確認してください。
接続失敗 サイトが接続できる状態であることを確認してください	レコーダーがログインできる状態であることを確認してください。以下の状態ではログインできません。 ・メンテナンス設定画面表示中 ・接続数が上限に達しているとき
接続失敗 ユーザー名またはパスワードに誤りがあります	サイト登録時のユーザー名またはパスワードが誤っているためログインできません。サイト登録情報を確認してください。
	サイト情報とサイトのユーザー名またはパスワード名が一致しないため操作に失敗しています。サイト登録情報を確認してください。
	カメラの認証方式がダイジェスト認証になっているためログインできません。カメラの設定を確認してください。
接続失敗 このまま削除すると今後もプッシュ通知が届きます。サイトに接続できる状態で削除してください。	サイトを削除する際にレコーダーのプッシュ通知送信先の情報の削除に失敗しました。 このままサイトを削除すると、レコーダーのプッシュ通知情報が残り、プッシュ通知を受信し続けます。 ネットワーク接続やレコーダーの電源などを確認し、サイトにログインできる状態でサイトを削除してください。
ユーザー名またはパスワードに誤りがあります このまま削除すると今後もプッシュ通知が届きます。サイトに接続できる状態で削除してください。	
通信エラー このまま削除すると今後もプッシュ通知が届きます。サイトに接続できる状態で削除してください。	

## ■ リモコンモード

表示内容	対処・説明
レコーダーとの通信に失敗しました	レコーダーの電源が入っているか確認してください。
	スマートフォンとレコーダーのネットワーク接続を確認してください。
接続失敗 レコーダーが接続できる状態であることを確認してください	レコーダーがログインできる状態であることを確認してください。以下の状態ではログインできません。 ・ポップアップ画面表示中(マネージャー設定画面など) ・ロック状態 ・ログアウト状態 ・メンテナンス設定画面表示中

表示内容	対処・説明
音声認識失敗 インターネット接続を確認してください	スマートフォンがインターネット接続されていることを確認してください。
操作失敗 ホーム画面が設定されていません	リモコンモードの設定画面から、ホーム画面を設定してください。
操作失敗 「画面を戻して」に失敗しました	操作履歴がない場合は、「画面を戻して」の操作ができません。(P. 31「画面を戻す」)
操作失敗 停止中のため操作できませんでした	再生ビューが表示されていない、または、一時停止中のため、再生速度の変更ができません。
操作失敗 レコーダーとの通信に失敗しました	レコーダーの電源が入っているか確認してください。
	スマートフォンとレコーダーのネットワーク接続を確認してください。
操作失敗 録画データがありません	レコーダーの録画設定を確認してください。
操作失敗 再生ビューが表示されていません	一時停止などの再生操作は、再生ビューを表示してから行ってください。
操作失敗 レコーダーが操作できる状態であることを確認するか、サイト選択画面に戻って再度レコーダーを選択してください	レコーダーの設定が変更されたため、レコーダーの設定をTRIFORA Mobileに読み込む必要があります。サイト選択画面に戻って、再度レコーダーを選択してください。
	レコーダーが操作できる状態であることを確認してください。以下の状態では操作できません。 ・ライブ以外のタブが表示中 ・ポップアップ画面表示中(マネージャー設定画面など) ・ロック状態 ・ログアウト状態 ・メンテナンス設定画面表示中
	ユーザー名「admin」でログインしていることを確認してください。
	「[ビュー番号] 番を見せて」のような音声操作の実行時にメッセージが表示された場合は、そのビュー番号がレコーダー画面で表示中のパターンに存在することを確認してください。 たとえば、レコーダー画面で4分割パターンを表示中に、「5番のビューを見せて」と話しかけるとエラーになります。
操作失敗 レコーダーが操作できる状態であることを確認するか、サイト選択画面に戻って再度レコーダーを選択してください	「[カメラ名] を再生して」のような音声操作の実行時にメッセージが表示された場合は、サイト選択画面に戻って、再度レコーダーを選択してください。
操作失敗 レコーダーが操作できる状態であることを確認するか、サイト選択画面に戻って再度レコーダーを選択してください	「[日時] を再生して」、「直近再生して」のような音声操作を実行したときにメッセージが表示された場合は、レコーダー画面上でカメラのないビューが選択されていないか確認してください。
	操作履歴またはショートカットのボタンをタップしたときにエラーメッセージが表示された場合は、そのカメラ/パターンがレコーダーに存在しているか確認してください。

# 故障かな？と思ったら

## ■ ビューアーモード

症 状	調べるところ	対 処
サイトと通信できない	接続しているインターネット回線やWi-Fiが低速ではありませんか？	ネットワーク環境を改善してください。
サイトにログインしてもライブが表示できない	RTSP ポート番号は間違っていますか？	RTSP ポート番号が間違っている等で通信できない場合、サイトにログインできてもライブや録画再生を表示できません。RTSP ポートの設定を確認してください。
	サイトのライブ配信数の上限を超えていますか？	ログインしたサイトのライブ配信数を確認してください。
ライブ映像がコマ落ちする	接続しているインターネット回線やWi-Fiが低速ではありませんか？	ネットワーク環境を改善してください。
ライブ映像が遅延する	—	ライブ映像の表示はインターネットの通信速度やバッファにより遅延が発生します。また、ネットワーク環境やカメラの設定によっては遅延が大きくなることがあります。
レコーダーの録画再生映像が表示できない	レコーダーで再生できるチャンネル数の上限を超えていますか？	ログインしたレコーダーの再生状態を確認してください。
再生がコマ落ちする	接続しているインターネット回線やWi-Fiが低速ではありませんか？	ネットワーク環境を改善してください。録画の再生にはライブよりも高速な回線が必要です。
音声再生が途切れる	接続しているインターネット回線やWi-Fiが低速ではありませんか？	ネットワーク環境を改善してください。
再生が止まる	日をまたぐ連続再生をしていませんか？	日をまたいで連続再生はできません。タイムラインバーを操作してください。
PTZ 操作できないカメラがある	レコーダーに TRIFORA シリーズ以外の PTZ カメラを接続していませんか？	TRIFORA シリーズの PTZ カメラを接続してください。TRIFORA シリーズの PTZ カメラ以外は操作できません。
PTZ 操作できない TRIFORA シリーズの PTZ カメラがある	TRIFORA シリーズのカメラをレコーダーに登録するときに、「スキャン(Onvif)」で登録していませんか？	Onvif でスキャンしても PTZ 操作はできません。TRIFORA シリーズの PTZ カメラは、「スキャン」で登録してください。
PTZ 操作できないカメラを接続しているのに PTZ 操作パネルが表示される	TRIFORA シリーズのビデオエンコーダーを接続していませんか？	ビデオエンコーダー接続時は、ビデオエンコーダーに接続された機器の種類に関係なく常に PTZ 操作パネルが表示されます。
登録したプリセット名がほかのスマートフォンで表示できない	—	ほかのスマートフォンでプリセット名を表示したい場合は、プリセット編集で名称を変更してください。 ( P. 20 「プリセット操作」)

症 状	調べるところ	対 処
サイトに登録していないレコーダーからプッシュ通知が届く	サイトにログインできない状態でサイト(レコーダー)の削除をしていますか？	レコーダーにログインできない状態でサイトを削除すると、プッシュ通知情報がレコーダーに残ったままになります。以下のどちらかを行ってください。 ・再度サイトを登録してからサイトを削除する ・TRIFORA Mobile をアンインストールしてから再インストールしてください。
カメラへのログインに失敗する	TRIFORA カメラの認証方式が間違っていないですか？	TRIFORA Mobile はベーシック認証のみに対応しています。TRIFORA カメラの認証方式は「ベーシック認証」を選択してください。
カメラにはログインできるが、PTZ 操作、プリセット操作に失敗する	TRIFORA Mobile の操作権限のあるユーザーでログインしていますか？	TRIFORA Mobile からの操作には管理者権限が必要です。管理者権限のユーザーでログインしてください。
レコーダーにはログインできるが、ライブ表示、録画再生表示できないカメラがある	TRIFORA カメラ(N-C5 シリーズ)を接続していますか？	TRIFORA カメラ(N-C5 シリーズ)を接続してください。

## ■ リモコンモード

症 状	調べるところ	対 処
音声認識などの反応が遅い	接続しているインターネット回線やWi-Fi が低速ではありませんか？	ネットワーク環境を改善してください。
レコーダー画面では再生ビューが表示されていないのに、スマートフォン画面に再生速度などが表示されている	—	サイト選択画面に戻ってから、再度レコーダーを選択してください。
レコーダー画面では再生ビューが表示されているのに、スマートフォン画面に再生速度などが表示されていない	—	サイト選択画面に戻ってから、再度レコーダーを選択してください。
スマートフォン画面に表示されるカメラ名やパターン名が、レコーダー本体画面に表示されているものと異なる	—	サイト選択画面に戻ってから、再度レコーダーを選択してください。

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル (固定電話専用) <b>0120-108-117</b>	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

**TOA 株式会社**

161-10-00054-02